

科目名[英語名]						
先人に学ぶリーダーシップ [Japanese Leadership]						
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]						
奥 健一郎[099-285-8329]						
E-Mail	koku@eng.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 2分野	開講期	後期木曜 2	単位等 2
共同担当教員名						
なし						
教育目標のキーワード						
視野・判断力・探求能力/社会的貢献意識						
学習目標(学生の達成 目標)						
<p>日本を中心とする賢人のリーダーシップを、人間としていかに生くべきか?という視点から講義する。わが国において先人がこれまで築きあげてきた伝統・歴史・思想を通じ、人々をリードしていく上での考え方や道徳を考えることを学修目標とする。</p> <p>そのために日本の伝統的思想・リーダーシップを再評価し、次世代を担う人間としてのあり方を学生とともに考えていく授業とする。自立できる人間形成に重点を置く。</p>						
授業概要(目的・内容・方法)						
<p>先人のリーダーシップを、常に現代社会との事象と関連づけながら講義をする。人間としての生き方・モラルのあるべき姿を、彼らの生き様を通じて様々に感じ取れる内容の講義とする。最終的には、様々なケースを通じて、自分なりの人生観・リーダーシップの枠組みを構築できることを目的とする。取り上げる人物は、以下を予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聖徳太子 2. 吉田松陰 3. 西郷隆盛 4. 坂本竜馬 5. 新渡戸稲造 6. 松下幸之助 7. 安岡正篤 8. 中村天風 						
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)						
<p>現代社会において必要とされるリーダーシップを、モラルの問題と関連させながら深めていく。</p> <p>第1回 はじめに 第2回 日本の歴史の整理 第3回 先人の遺したもの 第4回 現代社会の課題 第5回 リーダーシップの必要性(1) 第6回 リーダーシップの必要性(2) 第7回 聖徳太子 第8回 吉田松陰 第9回 西郷隆盛 第10回 坂本竜馬 第11回 新渡戸稲造 第12回 松下幸之助 第13回 安岡正篤 第14回 中村天風 第15回 結び</p>						
受講要件	なし					
評価基準および方法	授業中の小テストと試験で総合的に成績評価をする。授業中の小テスト5割、試験5割が大まかな目安。					
教科書	参考書と資料配付を教科書的に利用。	参考書	幸之助論(ジョン・P・コッター著/ダイヤモンド社)			
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	講義中に指示。	その他				